

すてきな みんなの えがおか



墨江小学校で行われた墨江子どもフェスティバルに参加させてもらいました。空き教室で開始を待つ間に聞こえたチャイムの音。園長先生から、この音を合図に、小学校は勉強の時間が始まったり、休み時間になったりすることを教えてもらいました。小学校の生活を知ったり、交流を通して、小学生の優しさにふれたりし、就学への期待をもつ機会となりました。



「楽しかったです。ありがとうございました！」
後日、手紙を書いて小学校へ届けました。

園外散歩

ばら組と一緒に住吉図書館と、区民ギャラリーへ出かけました。15分ほどかけて歩きます。歩道の歩き方や踏切の渡り方など、小学校の通学も見据えて、子ども達自ら安全な行動が取れるよう全体や個別に伝えていきます。区民ギャラリーでは自分の作品を探したり、隣に展示している住吉幼稚園の絵を見て喜んだりしていました。



かかしづくり

住吉大社の御田のお米を守るためにかかしづくりをしました。子ども達と話し合い、「マリオ」のかかしに決めました。幼稚園のお米に鳥が飛んできていることに気付き「早くつくってあげないと」と夏休みが明けてから、すぐにつくり始めました。ばら組に見てもらうと「かっこいい」と喜んでいました。みんなで協力してつくる楽しさ、出来上がった時の喜び、年長組として取り組む誇らしさを感じられる活動になりました。早速、「お家の人と見に行ったよ」と伝えてくれる子どもがいました。幼稚園からは10月にかかしを見に行く散歩を予定しています。他の小学校や幼稚園のかかしも楽しみです。



ゆりぐみ

大阪市立墨江幼稚園
2025.8.9 No.5

運動遊び

体操、縄遊び、リレーごっこ、パラバルーンなど、体を動かす遊びを楽しんでいます。大縄では、友達のチャレンジしている様子にも関心をもってほしいと、友達の跳ぶ回数を大きな声で数えたり、友達の跳べた喜びと一緒に喜んだりする姿が自然と見られるようになっています。クラスの友達と一緒に体を動かす楽しさや一体感を味わえるよう、これからも話し合いの機会をもつたり、励ましたりしていきたいと思います。



蚕（かいこ）

墨江小学校の先生からカイコの幼虫を譲っていただきました。日々観察している子どもが「大きくなってる」と喜んで知らせてくれたり、扇を取り除いて新しい桑の葉に取り換えてくれたりしました。体が大きくなると、糸を吐いて繭をつくります。繭から出てきた成虫を「可愛い！」と手のひらにのせて観察する子どもが多くなっていることに驚きました。

最初は怖がったり戸惑っていた子どもの、生き物に触れることができた経験は、自信や達成感、満足感を感じられる貴重な機会です。自らの行動によって得られた満足感は、その後の活動への意欲にもつながります。

蚕の面白さや不思議さにふれたり、生命の大切さに気付いたり、そっと丁寧に扱う姿からも生き物への優しい気持ちが育まれる経験になりました。



ピッグバン

年長児は、4階から8階まであるジャングルジムに挑戦！どこを握ってどこに足を置こうかと考えながら慎重に進む子どもや、過去に来た経験があり、軽々と登る子ども、友達に「頑張れ！」と励ます姿が見られました。（私はくたくた。翌日は筋肉痛でした。）全員そろって8階で記念写真をパチリ！他の幼稚園からも大勢の子ども達が遠足に来っていましたが、約束や順番を守って遊ぶことができました。

